

大島への観光客数は新型コロナウイルスに係わる規制が緩和されてから回復しつつありますが、月間の来島者数は前年比でプラスとマイナスを行ったり来たりしており、最盛期の頃に比べるとまだ伸び悩んでいる状況であり、観光客数回復のためには満足度の高い観光地に成長する必要があると思います。

大島での観光の形態は昔のような団体客中心から多様化しており、近年では個別にレンタカーやレンタルバイク・レンタルサイクルを利用する人も増えています。

そのような状況で島の中でいくつか気になる点があります。
まず一つがトイレの不足とトイレの掲示の不足です。

大島の中でも大きな観光の目玉となっている地層大断面ですが、ここにトイレを設置してほしいとの声が島内からもあります。

今までにも何度か議会で取り上げられ、砂の浜にトイレがあるという理由で見送られてきた。とお聞きしますが全国的にも有名な観光名所でありジオパークの目玉でもある地層大断面はゆっくりとじっくりと見てほしい名所です。

元町を出発すると野増にあるウェラゴにある公衆トイレからかなり距離がありますし、地層大断面から砂の浜のトイレも路線バス、観光バスで訪れた人からすると歩いて砂の浜の公衆トイレを利用することはかなり負担に感じると思われまし自転車にとっても距離があります。

景観や建てる場所の観点から地層前に作ることではできないでしょうが、砂の浜側に都道より一段低い場所にスペースがありますし都道旧道が一部残っている所にもスペースがあります。水道を引くことが困難ならば桜株にあるような生物分解式のトイレでも検討してほしいと思います。

また、三原山登山道路で見えますと元町の吉谷神社、岡田の福じゅ寺を過ぎると三原山山頂まで公衆トイレがありません。かつては椿の森公園にトイレがありましたが今は建物その物も撤去されており、椿の森公園に限らず山頂に至るまでのどこかにトイレを設置する必要を感じます。

トイレが設置されている場合でも場所の掲示が分かりにくいこともあります。ウェラゴ砂の浜、筆島などは都道からはトイレの案内が分かりにくい状況ですしそのほかのトイレも島の人ならばあることが分かっているので利用できるが観光の方から認知できるかどうかの点検が必要と感じます。

トイレに限らず自動車や自転車で島を回る際の利用可能な施設の掲示や注意喚起、特に自転車に関しては所要時間や急こう配での事故への注意喚起・道路の舗装改善など観光利用への利便性の向上を目指すべきだと思います。

一方、観光資源の紹介ツールに関して、港や空港、開発総合センターに設置されているタッチパネル式のデジタルサイネージは非常に素晴らしい情報ツールだと思うのですが、情

報の更新が滞っており、11月30日の段階で観光施設案内を表示すると火山博物館リニューアル工事中となっていました。トップ画面ではリニューアルオープンしたジオノスの情報がありますし恒例イベントに関しても今年の日程に情報が更新されているので部分的に更新が滞っているのは少々もったいない気がします。飲食店や個人商店などは随時状況が変わっていますし届け出が無ければ更新は難しいとは思いますが、公共施設や町のイベント情報、特に先に行われたデフリンピックなどの情報が無かったのは残念だと声をいただいております、より豊かな情報発信をしてほしいと思います。

観光課長にお伺い致します。

観光に係わるトイレや公共施設、道路に関して改善してほしいというような観光客・住民からの意見等が寄せられているのならばお聞かせ下さい。また、デジタルサイネージのデータの更新はどのように行われているかお聞かせ下さい。

町長に置かれましてはこれらを踏まえ、観光資源の改善計画を検討してください。

環境課長答弁

酒井議員のご質問に観光課よりお答えします。

初めに「観光に係わるトイレや公共施設、道路に関して改善してほしいというような観光客・住民からの意見等が寄せられているのならばお聞かせください」についてお答えします。

現在観光課では大島町観光総合計画の策定を目指しているところですが、検討委員会での議論に必要な情報収集の一環で観光客への聞き取り調査を実施しております。実施期間は令和6年11月2日（土）から11月4日（月）までで、サンプル数は152でした。聞き取り調査の設問に「訪問中に困ったこと」という項目があり観光客が困った点の上位は「雨天荒天時の過ごし方」63.8%「公共交通機関の利用方法や利便性」25.7%「商店・スーパーマーケットの場所や情報」21.7%「キャッシュレス決済手段」17.1%「宿泊施設の設備・備品」15.8%でした。一方「光施設の設備・案内表示や情報提供情報」は3.3%「道路設備状況」も3.3%で比較的少なかったと評価できます。

それから大島町第7次基本構想・基本計画策定に向けた住民アンケートでは観光設備の要望として「地層大切断面に公衆トイレ及び休憩所の整備。設置場所には最新の注意を願いたい」というものが1件ございました。

それから、これは電話で受けたものですが「裏砂漠入り口駐車場に設置してある仮設トイレは女子にとっては恥ずかしくて使えない。あんなものは必要ない」というご意見もございました。

観光課で把握しているトイレや道路に関するご意見は以上です。

次に「デジタルサイネージのデータ更新はどのように行われているかお聞かせください」についてお答えします。

ページの更新は保守事業者に依頼する必要がありますのでその都度データを先方に送っております。なお、ご指摘のありましたジオノスのページについては、リーフレット等の作

成時にプロのカメラマンが撮った写真を使う予定でしたので時間を要してしまいました。申し訳ありませんでした。遅くなりましたがリーフレット、パンフレット、ポスターなども出来上がってまいりましたので、今後 PR に努めてまいります。

観光課からは以上です。

町長答弁

酒井議員のご質問にお答えします。

担当課長の答弁に捕捉します。

トイレ設置については、議員のご質問のように観光環境の改善に必要な一つであると認識しています。情報発信・ジオノスのご指摘については早速、更新いたしました。現在、公式ライン等もより充実させ、出来るだけ多くの情報を発信させていきます。デフの情報が無かったとのご指摘ですが、デジタルサイネージに情報が反映されていなかった点についても申しわけありませんでした。オリエンテーリングという競技は場所やスタート地点などの詳細な情報提供が出来にくいこともご理解を頂きたいと思います。都・支庁・大島町役場職員は、各課にわたり情報発信も含め、できる限りの努力をしたいと認識しています。また、議員の皆さまにも、手話条例も制定していただき、又、随時情報提供していきます。岡田港での町民の皆様のお迎え・お見送りにつきましても、私は評価しています。トイレについては今年、デフや国際ツバキ大会等もあり、補助を活用して洋式化を進めました。トイレの数及び看板については、色々なトイレの形状もありますが、環境や設置場所、離島活性化交付金等の予算措置も含め、関係機関とも協議の上、適切に進めます。観光資源の改善計画についてですが、議員もご承知のように、本年度「大島町観光総合計画」の策定を目指しており、その中の基本施策として「来島者の利便性とホスピタリティーの向上」を盛り込む予定です。また、既存の施設についてはすでに「大島町公共施設個別計画」において方針を明らかにしておりますので、引き続き老朽化施設の改善に努めて参ります。

席上質問

ありがとうございます。デジタルサイネージのデータ更新を送るとのことですが飲食店などは移転や新しい店がありますので、お店の情報を求める声がありますのでお忙しいとは思いますがこまめに情報を送ってほしいと思います。また元町は店舗が多くとても細かいので拡大するなどしてほしいと思います。

観光施設の改善に関しては港屋旅館などもより良い形で残してほしいと思います。